

学会賞受賞の紹介

2021年度 農村計画学会春期大会 ポスター賞

受賞タイトル:「都市居住者の農山漁村滞在型旅行における旅行動機と旅行志向に関する研究」
受賞者:佐藤彩生(現農林中金総合研究所 主事研究員、2019年度～2020年度農林水産政策研究所 研究員(出向))



佐藤彩生が「都市居住者の農山漁村滞在型旅行における旅行動機と旅行志向に関する研究」のポスター発表で2021年農村計画学会春期大会のポスター賞を受賞しました。

本研究は、農山漁村滞在型旅行における都市居住者の旅行者タイプとその旅行志向を大規模webアンケート調

査のデータを用いて定量的に解明しました。因子分析の結果を基に①意欲旺盛型、②心身解放型、③興味萌芽型の3つの旅行者タイプが析出され、旅行目的や体験内容等の回答割合の差の検定を踏まえて、旅行者タイプごとに農山漁村滞在型旅行への興味の程度が異なることや、誘客にあたっては温泉地や観光地との関係性を考慮する必要があることを明らかにしました。

こうした内容を踏まえ、本研究が独創的かつ将来性のある発表であると認められ、本論文の発表者にポスター賞が授与されました。また、本研究を基にした論文(共著に八木浩平)は農村計画学会誌にて2021年6月に採用され公開されています。

最近の刊行物

農林水産政策研究

第34号 2021年6月

【論文】 佐々木宏樹

ナッジが有機農産物の購買行動に与える影響—オンラインによるランダム化フィールド実験からのエビデンス—

【調査・資料】 伊藤紀子・井上荘太郎・樋口倫生・石田貴士・小林弘明・森路末央

中国の電子商取引(E-commerce)市場における日本産食品の購入に関する調査:購入経験者の特徴に注目して

【研究ノート】 天野通子・山尾政博

養殖ブリにおける産地流通加工企業の輸出戦略—フードチェーン・アプローチの視点から—

早期公開 2021年9月

【調査・資料】 川崎賢太郎

※WEB掲載のみ 農業政策の効果測定手法:差分の差分法

プロジェクト研究【主要国農業政策・貿易政策】研究資料 ※WEB掲載のみ

第5号 2021年3月

令和2年度カントリーレポート:EU(農産物貿易政策等、持続可能性確保と経済復興・成長に向けた取組、フランス)、英国、ロシア

第6号 2021年3月

令和2年度カントリーレポート:タイ、ベトナム、インドネシア、韓国、中国

第7号 2021年3月

令和2年度カントリーレポート:ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、オーストラリア

第8号 2021年3月

令和2年度カントリーレポート:横断的・地域的研究、世界食料需給分析

農業・農村構造プロジェクト【農村集落分析】研究資料

2021年10月 農山村地域の人口動態と農業集落の変容—小地域別データを用いた統計分析から—